

### アンケート調査結果について

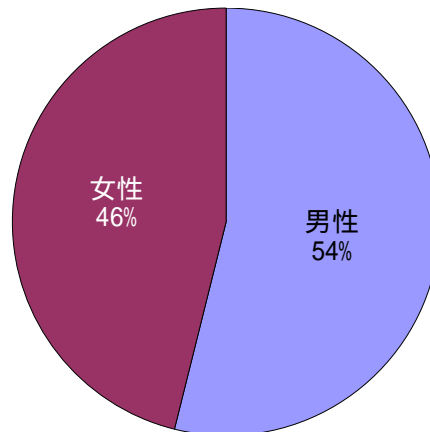
(北海道教育庁釧路教育局「初任者研修(宿泊研修)」参加者を対象)

平成 22 年 8 月 3 日(火)、北海道教育庁釧路教育局が実施する初任者研修(宿泊研修)がパイロットフォレストで行われました。この研修は 2 泊 3 日の予定で厚岸少年自然の家を拠点に、「野外における諸活動の指導法の基礎を取得し、今後の教育活動の充実に役立つ」ことを目的として行われました。研修には、今年度釧路管内で新しく教員(小・中・高校・特別支援学校)に採用された 76 名が参加しました。

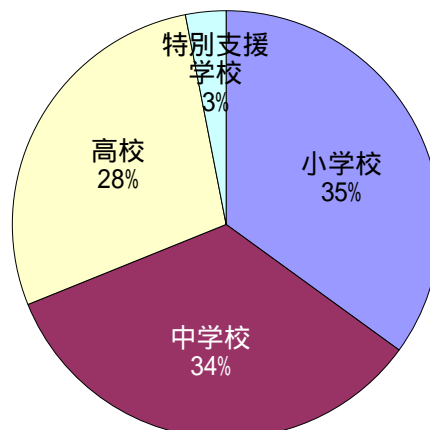
釧路湿原森林環境保全ふれあいセンターでは、研修参加者 76 名に対して、「森林との関わりについて」、「森林環境教育について」、「当日の研修内容について」、「パイロットフォレストについて」などのアンケート調査を行いました。

#### 1. アンケートの回答者について

(1) 性別は、男性 41 名(54%)、女性 35 名(46%)でした。

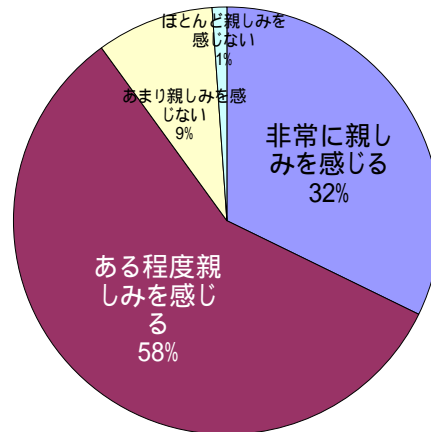


(2) 勤務する学校は、小学校 27 名(35%)、中学校 26 名(34%)、高校 21 名(28%)、特別支援学校 2 名(3%)でした。

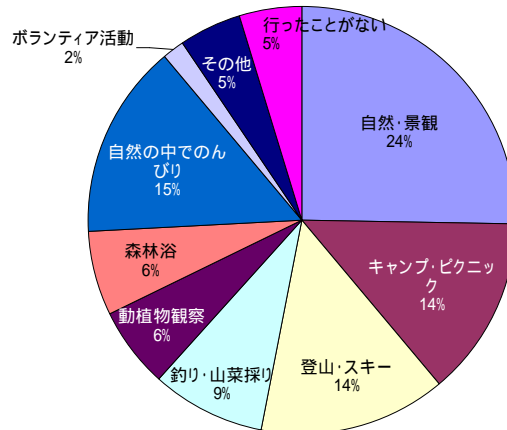


## 2. 森林との関わりについて

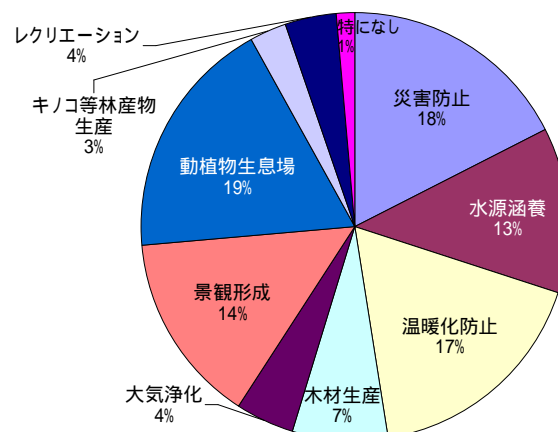
(1) 「あなたは森林に対して親しみを感じますか？」の質問に対して、「非常に親しみを感ずる」32%、「ある程度親しみを感ずる」58%、「あまり親しみを感ずらない」9%などとなりました。



(2) 「ここ1年くらいの間に、主にどのような目的を持って山や森林に行きましたか？」（複数回答可）の質問に対して、「自然・景観を楽しむため」24%、「なんとなく自然の中でのんびりするため」15%、「キャンプやピクニックなどを楽しむため」・「登山やスキーなどのスポーツを楽しむため」各14%などとなりました。

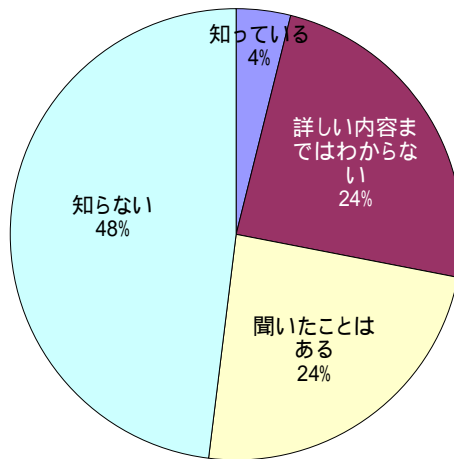


(3) 「北海道の森林の55%は国有林です。国有林にどのような働きを期待しますか？」（複数回答可）の質問に対して、「貴重な野生動植物の生息の場としての働き」19%、「山崩れや洪水などの災害を防止する働き」18%、「二酸化炭素を吸収することにより地球温暖化防止に貢献する働き」17%、「美しい景観を形成する働き」14%などとなりました。

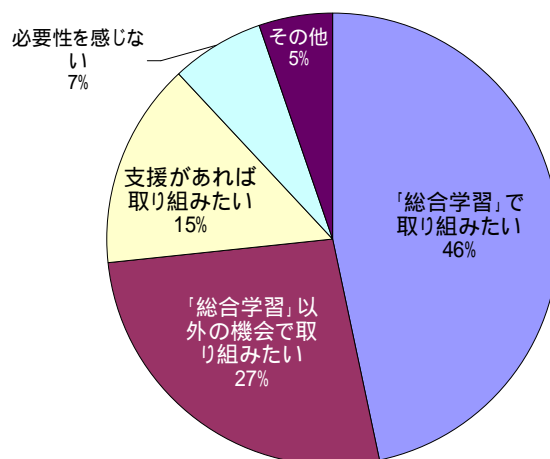


### 3. 森林環境教育について

(1) 「環境教育の一環として、森林の様々な働きや仕組み、森林と人間の関わり合いなどについて学ぶ「森林環境教育」という言葉がありますが、この言葉をご存じでしたか？」の質問に対して、「知っている」4%、「知っているが詳しい内容はよくわからない」24%、「聞いたことはある」24%、「知らない」48%となりました。

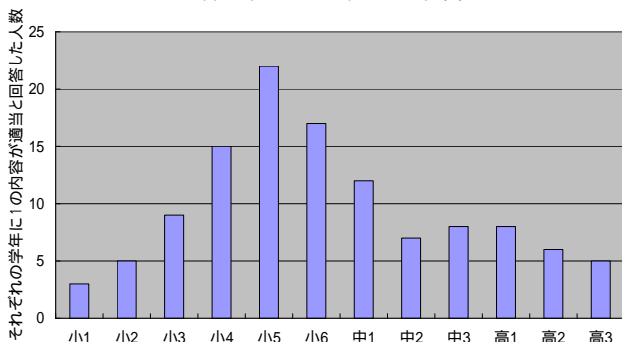


(2) 『釧路湿原森林環境保全ふれあいセンターでは、各学校の児童・生徒に「森林環境教育」に興味・関心を持ってもらうため、「森林の様々な働きや仕組み・森林と人間の関わり合いの学習」や「森づくりのための森林・林業体験活動」の支援を行っています。児童・生徒にこうした学習・体験を取り組ませたいと思いますか。』の質問に対して、『「総合的な学習の時間」で取り組ませたい』46%、『「総合的な学習の時間」以外の機会に取り組ませたい(例・見学旅行、既存の学校行事など)』27%、「国や道などの行政機関が協力してくれるのであれば取り組ませたい」15%などとなりました。

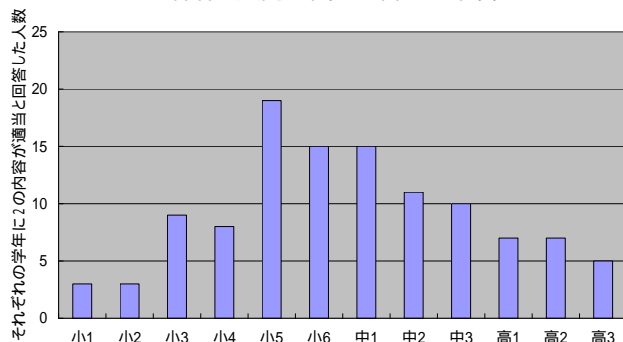


(3) 「あなたの学校で、森林環境教育に関する学習や体験を行うとしたら、どのようなことをさせたいとお考えですか(複数回答可)。また、その内容に相当と思われる対象学年を教えてください。」については、選択肢ごとにどの学年が相当と思われるかを回答した人数をグラフで表してみました。

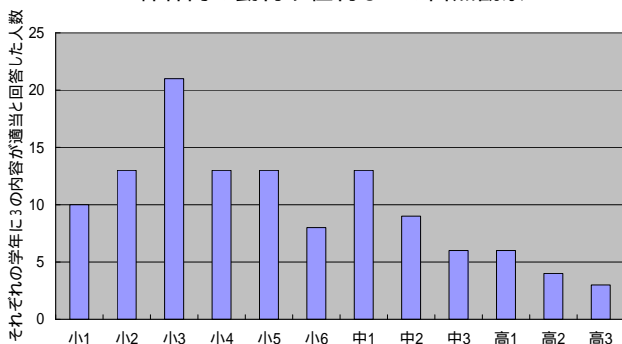
1. 森の仕組みや働き学習



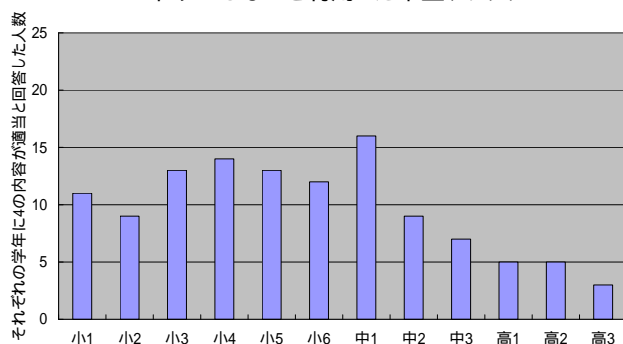
2. 森林と人間の関わり合いの学習



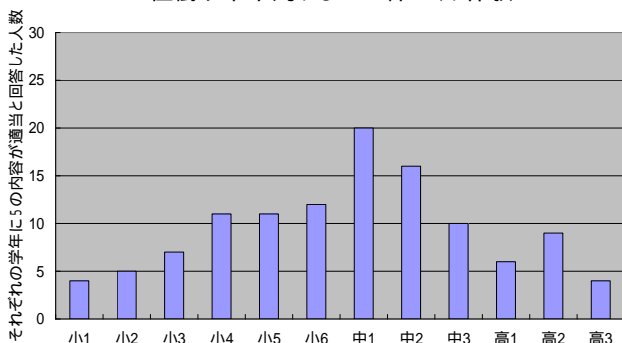
3. 森林内の動物や植物などの自然観察



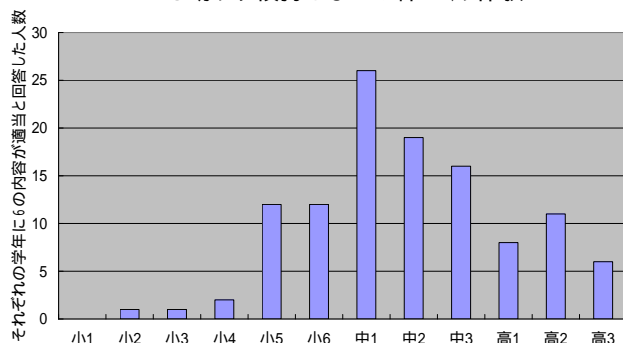
4. 木やつるなどを利用した木工クラフト



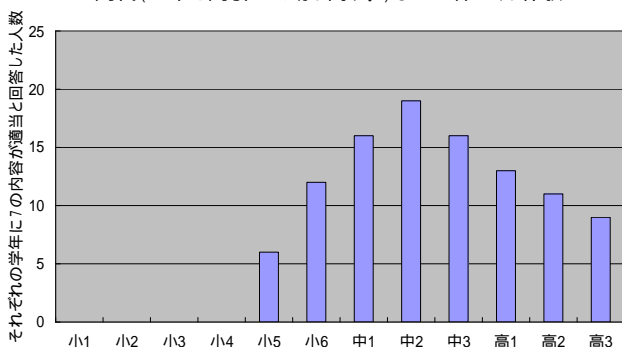
5. 植樹や下草刈りなどの森づくり体験



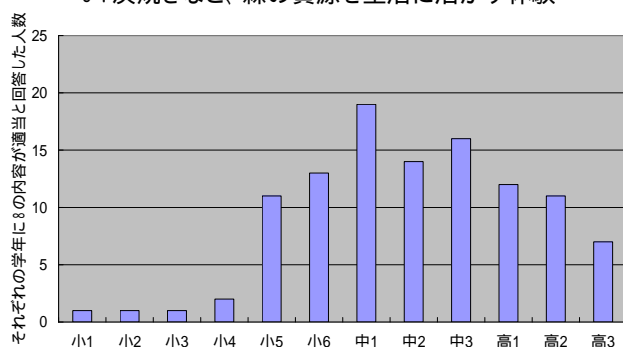
6. つる切りや枝打ちなどの森づくり体験



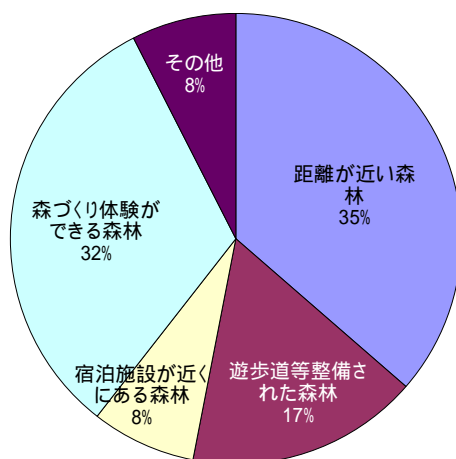
7. 間伐(=木を間引いて切り倒す。)などの森づくり体験



8. 炭焼きなど、森の資源を生活に活かす体験

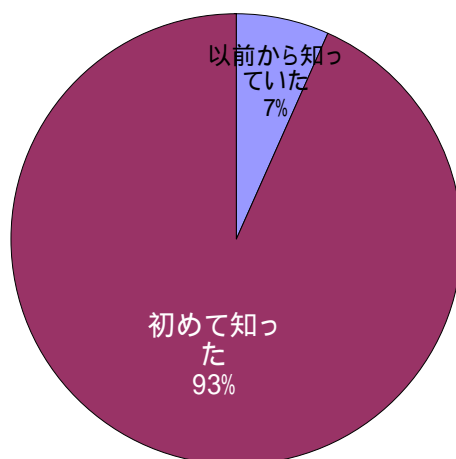


(4) 「体験活動で児童・生徒を森林に連れて行くとしたら、どのような条件の森林に連れて行きたいと思いますか。」の質問に対して、「学校からの距離が近い森林」35%、「つる切りや枝打ちなどの森づくり体験ができる森林」32%、「遊歩道などの整備された森林」17%、「宿泊施設などが近くにある森林」8%などとなりました。



#### 4. パイロットフォレストについて

(1) 「パイロットフォレストについてご存じでしたか？」の質問に対して、「以前から知っていた」5名(7%)、「初めて知った」70名(93%)でした。



#### 5. 自由意見から

##### (1) 研修内容について

###### 1) カミネッコン作りと植樹について

- ・ 障害のある子どもでも取り組みやすいと思った。(中学校/女性)
- ・ 自分で作ったカミネッコンを植樹できるのがとてもうれしいです。きっと子どもたちも同じ気持ちになると思います。小学校でもやってみたいです。こうした「うれしい気持ち」が森林に興味を持つきっかけになると思います。(小学校/女性)
- ・ カミネッコンが森林を知ってもらうきっかけになると思います。学校に呼びかけて植樹体験などおもしろそうですね。夏休みの自由研究に…(小学校/女性)
- ・ 植樹の時に非常に便利な用具だなと感じました。そのまま埋めて土に還る。非常にエコで、今の時代に適したものであるので、子どもたちにも伝えてあげたい。非常に手軽で、子どもたちも簡単に行えると思います。(小学校/男性)
- ・ 植林というと重労働というイメージがあったが、簡単に楽しみながら取り組めることに驚いた。自然に還るプランターを自分たちの手で作る作業は、重労働のできない年齢の児童生徒にも有意義な活動だと感じた。(高校/男性)

- ・ ドングリから芽が出たとわかる苗はとても興味を引かれた。学校行事などで植えて育てられたらいいなと思った。(中学校/女性)
- ・ 簡単に作れるので小学校でも行うことができ、とても良いと思いました。単年ではなく、長期的・計画的に取り組むことで、より意味のある活動へと展開することが出来ると思いました。(小学校/男性)
- ・ ミズナラのドングリの実は身近で、子どもの反応も良いだろうと思った。(小学校/男性)
- ・ 組み立てに手間取り、子どもの気持ちがわかりました。作り方がおもしろく、名前もかわいいので、子どもも楽しく取り組めると感じました。(中学校/女性)
- ・ カミネッコンを作るだけではなく、何年後の育った木を見る楽しみが出来るのではないかと感じました。(高校/男性)
- ・ 植樹後、数年したら見に来たりできるシステムがあるとさらに楽しみが増えるのではないかと思う。(中学校/男性)
- ・ 段ボールや新聞紙など土に還るものをうまく利用したポットで驚きました。もし子どもにやらせても簡単にできそうだし、より森林を身近に感じられるきっかけになるのかなと思います。(小学校/女性)
- ・ 小さい苗木が何十年もかけて大きな木になるということを子どもたちにも実感してもらいたい。(小学校/男性)

## 2) 枝打ち体験について

- ・ 楽しかったです。やっているうちに自然とどの枝を落とすべきか、活動する本人が考えなくてはいけないうところがとても良いと思いました。班活動に使いたいです。(特別支援学校/男性)
- ・ 1本1本枝打ちをすることの大切さと現場の方々の努力が、体験を通して伝わってきました。(高校/女性)
- ・ 女性でも簡単に行えるので、子どもたちでも行えそうだと感じた。(高校/女性)
- ・ 枝打ちする意義について知ることができ、この活動から「森は育てるところ」という意識を改めて持つことができた。(小学校/男性)
- ・ 思ったよりも簡単な作業でしたが、その分取り組みやすく夢中になってしまいました。(中学校/男性)
- ・ 簡単に切ることができる分、ケガへの注意が必要と思った。(高校/女性)
- ・ 達成感があり、とてもおもしろかったです。子どもたちにも取り組ませたいです。(中学校/女性)
- ・ 子どもにやらせるとき(間伐も同じ)に、「なぜこれをやるのか」ということを考えさせたいと思った。(小学校/女性)
- ・ ただ置くだけというのが、私の植樹のイメージをひっくり返した感じで驚きました。とてもエコなやり方だと思います。(小学校/女性)
- ・ 道具の使い方のコツさえつかめれば簡単に切ることができたが、道具を使ったことがない小・中学生には、学校で指導してからと思いました。(中学校/男性)

## 3) 間伐体験について

- ・ 細い木でも意外と伐採するのに労力がいる、1日に何本も切るのはかなり大変だ。森を維持する大変さを身をもって実感できた。(中学校/男性)
- ・ 木が倒れる瞬間はすごく迫力があり、めったにできない体験をすることができました。受け口を作

ることの効果も体感でき、生きた物理の勉強にもなるなと思いました。(小学校/女性)

- ・ 植えた木をなぜわざわざ間伐するのか不思議でしたが、野菜の間引きと同じような作業をしているという話を聞き納得しました。(小学校/女性)
- ・ 力だけでなく角度やスピードのバランスなど考えることがたくさんあったように感じます。小学生には難しいかもしれませんが、中～高は楽しめると思います。(特別支援学校/男性)
- ・ 難しい作業ではあるが、森林管理局の方の説明を受け、安全に取り組み、切り倒した後の光の入った林を見ることで、森林に対する理解が深まるものだった。生徒に取り組みたい活動の一つだった。(高校/男性)
- ・ 自然環境の保全などに貢献したと実感できる活動であると思います。安全面に気をつければ小学校でも行うことができると思いました。(小学校/男性)
- ・ 間伐は初体験だったので楽しかったです。生徒は、ある程度力のついた学年でないと難しい気はします。(中学校/女性)
- ・ 危険を伴う作業のため、生徒が行う場合はより少人数で行った方がよいと感じた。(高校/女性)
- ・ ノコギリの使い方が難しく、子どもに体験させるときは事前の指導が必要と感じました。(中学校/女性)

#### 4) 研修全体について(研修で得られたこと等)

- ・ 釧路で育ちながらこのような体験はほとんどしたことがありませんでした。子どもに自然体験活動をさせる前に我々教師が味わっておくべきだと感じました。(中学校/女性)
- ・ 自然との関わり方にも様々あるのだとわかった。たくさんの経験を生かして生徒にも自然とのふれ合いを大切にすることを身につけさせたい。(中学校/男性)
- ・ 体験の一つ一つが新鮮で、本当に来て良かったと思いました。ハチやアブがいると聞き怖かったのですが、ハチなどを捕まえるための仕掛けが作られていたりなど配慮されていて怖くなくなりました。子どもたちと森林の勉強を深めたいです。(小学校/女性)
- ・ 何より自然を肌で感じることの楽しさを再確認することが出来ました。子どもにも定期的にこうした活動を体験させたいと思います。その上で、森林を良くする活動やその大切さを伝えたいです。(特別支援学校/男性)
- ・ 普段の生活では体験する機会がないので大変良かった。生徒に環境教育等でこの体験を伝えることができるので授業で取り上げようと思う。(高校/女性)
- ・ 漠然と自然を大切にすることを知り、それがどのように人の手によって行われているかを知り、理解を深める機会であると思う。(高校/男性)
- ・ 森林管理の作業やその意義についてを学んだ。また、子どもたちに体験させるとしたらということを考え参加できたので、森林についての学習があったときに役立てようと思う。(小学校/男性)
- ・ 実際に様々な体験をすることが自然に対する理解を深めるのだなと改めて感じました。(中学校/女性)
- ・ 実際に体験するからこそ得られる「自然を守ろう」とする心を子どもたちに伝えたいと思いました。(小学校/男性)
- ・ テレビや本で間伐や枝打ちの必要性については何となく理解していましたが、実際に森の中に入り、木の様子を見て説明を受け、木を切る経験をしたことで、具体的なこともわかり、より理解を深めることができました。(小学校/女性)

- ・ 体験できることが多く、実感が湧きやすいものとなっている。事前学習との組み合わせでより広い学習につながっていく可能性があると思う。(高校/男性)
- ・ 枝打ち・間伐は率直に楽しかった。実際に生徒たちにやらせたいとも感じた。(高校/男性)
- ・ 自然体験での生徒の指導の仕方が想像できた点。小・中・高それぞれに応じたカリキュラムにした方が良いと思います。(高校/男性)
- ・ 自然豊かな土地が身近にあるので、授業等で活用したいと思いました。活用するとしたら、自然の保護、モノ作りあたりかと思います。(中学校/女性)
- ・ 今回体験した内容を何かの形で子どもたちに還元したいと思います。(小学校/男性)
- ・ ただの木、ただの森だと思っていたものにも深い意味と人々の努力があるのだと知ることができ、「自然」に対する見方が少し変わりました。(高校/女性)
- ・ 普段、高校では教科指導で外に出る機会はないのですが、環境については興味があるので、個人的に貴重な体験となりました。(高校/男性)
- ・ 自分自身の体験としては良かったと思うが、教育する中で行うとすれば、事前指導、その場での指導は非常に深く考える必要があると感じた。(高校/男性)
- ・ 森林のおもしろさ、大切さを伝えていくことが必要だと思います。体験活動を多く実践することなどで・・・(小学校/男性)
- ・ 森林を維持する人知れぬ努力を知ることができた。ぜひ生徒にそのことを伝えたいと思った。授業の中で生徒に知識としてだけでも教えたい。環境がテーマの題材などでできたら・・・(高校/男性)
- ・ 森と人との共存について、人は努力しなければならないということを子どもが体験する場として、今回の活動はとても有効であると感じ、ぜひ機会を作りたいと感じました。学校周辺でも出来るのではないかと考えてしまいます。どのような活動をしたら、子どもたちがこれから自然を守っていく大人になってくれるのだろうか深く考えさせられました。身近な湿原などでも考えてみたいです。(中学校/女性)
- ・ 森林や環境教育への興味関心 授業で扱ってみたいと思った。実際に体験させていただいたことが、学校での授業に結びつくという発見(嬉しさ)。(小学校/女性)
- ・ 本日は丁寧に優しく指導していただき、とてもわかりやすく森林のことについて、森の環境を守るということについて学べました。これを子どもたちへの教育へとつなげていくのが私たちの役目ですのでがんばっていききたいと思います。(小学校/女性)
- ・ 普段通り過ぎるだけの森を改めて見直すきっかけになった。(小学校/男性)
- ・ 森林に関わる仕事の大変さやその意味を改めて知ることができました。社会や総合的な学習の時間に子どもたちの先頭をきって指導に当たれるような知識が学べました。(小学校/男性)

## (2) パイロットフォレストについて(望楼からカラマツ林を見ての感想など)

- ・ 「素晴らしいの！」の一言に尽きます、望楼の途中にパイロットフォレストのここまでの歴史が載っているのも勉強になりました。素晴らしい森林は、自然の力と人の力が合わされてできたのだと思うと、その力のすごさに胸を打たれました。(小学校/女性)
- ・ 厚岸の町が見えると想像していたけれど、全く見えず、とても広いことがわかりました。(小学校/女性)
- ・ 遠くて移動が大変かなと思いました。ただ、活動はとても楽しかったです。(特別支援学校/男性)
- ・ ちょっと遠いと感じた。(小学校/男性)



- ・ 自分たちの住む町から少しはなれた所にこれほど広大で人の手が行き届いた森林があるのだと実感できる光景だった。枝打ちや間伐の作業とともに子どもにも体験してもらいたい。(高校/男性)
- ・ 何十年もの年月をかけて、手間をかけて、ここまで大きな森にしたということ、子どもたちへも教えたいです。(小学校/男性)

### (3) パイロットフォレストを広く一般の方に知ってもらうためには何が大切か

- ・ 今回の研修のように、子どもに教育を行う教員に実感を伴う体験を提供することは有意義であると思いました。(高校/男性)
- ・ 学校で取り上げるのが一番早いと思いました。家族向けの体験活動など。(中学校/女性)
- ・ 体験活動のPR、近隣農家との連携(複数を一度に体験)。(高校/女性)
- ・ 活動をわかりやすく紹介した資料、学校や地域施設への出前講座、体験プログラムの提供。(小学校/男性)
- ・ 森林やパイロットフォレストについての資料館があれば。(小学校/男性)
- ・ こうした研修のように、子どもから大人まで幅広く森林を保全する事業に参加できるような取組をより多く作っていったら良いと思います。(小学校/男性)
- ・ 学校の授業や体験活動で行うことだと思います。だから、今回の初任研で知ることができて良かったです。(中学校/女性)
- ・ 教育現場のみならず、様々な機会を通してその意義を実体験を通して伝えていくことが大切だと思います。(小学校/男性)
- ・ 学校で取り扱いやすいプログラムの作成。(高校/男性)
- ・ 親子体験など、家族向けPR。(中学校/女性)
- ・ 多くの人は湿原にばかり目がいっていると思うので、湿原の方でも森の役割についてなどをガイドする。(高校/女性)
- ・ 学校などへの出前授業等、そこ(森)へ行かなくても知ることが出来る機会。(中学校/女性)
- ・ 何かみどころがあればいいです。「ガイドしていただいたり」というサービスがあるとおもしろく深く味わえます。(小学校/女性)
- ・ イベントを多く行い、気軽に参加できるようにする。名物を作ることが必要では。(小学校/女性)
- ・ 道外の修学旅行生誘致活動の強化。以外にも木そのものを扱う体験は少ないと思います。(中学校/男性)
- ・ 森林の役割を明確に伝える。ホームページなどで宣伝。(中学校/男性)
- ・ 一般の方が今回のように体験活動ができると良いと思います。(小学校/女性)
- ・ カミネッコン作りや植樹など、比較的簡単な作業などを、より多くの人に実際に体験してもらうこと。より多くの人にまず認知してもらうこと。そこから活動が広がっていくのではないかと思います。私たちも広めていきたいと思います。(小学校/女性)
- ・ 研修機会の充実。呼び方をもっとわかりやすくした方がよい。(小学校/男性)
- ・ 観光資源として活用することが一つあると思います。特に本州から来た人間にとって、この取組は広く知ってもらうためには有効だと思います。(中学校/男性)
- ・ 観光の一環として紹介する(望楼からの景観は道外の人々の興味を引くと思う)。(中学校/女性)
- ・ 今日のような研修を他の企業の新人たちに行う。(小学校/男性)

#### (4) その他

- ・ 森林管理署の人々はどのように森林を管理しているのかよく知りませんでした。今回、様々な体験を通して木を育てる、手をかけるという人がいること、またその大切さを子どもたちにも知ってほしいと思いました。(小学校/女性)
- ・ 自分のいる世界とは違った世界が広がっていて何もかもが新鮮だった。「釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター」に就職したい場合はどのようなステップを踏めばよいのか気になった。(高校/女性)
- ・ 近隣の学校ですがパイロットフォレストを知りませんでした。動植物の調査等がありますか。あれば身近な教材資料に活用したいです。(中学校/女性)